

## かわさき区の宝物シート

宝物No.
6-4

につぼんやきんこうぎょうはぐるまにゆめんと

# 日本冶金工業歯車モニュメント

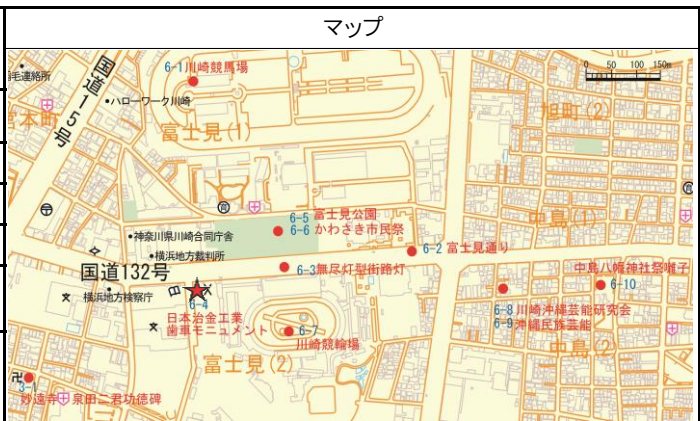
エリア	中央地区	シーズン	通年
	富士見・中島	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎区富士見2-1 富士見公園内
問い合わせ	川崎区役所まちづくり推進部 地域振興課
TEL	044-201-3136
FAX	044-201-3209
E-mail	61tisin@city.kawasaki.jp
URL	
交通	JR川崎駅・京急川崎駅から徒歩15分 JR川崎駅よりバス「教育文化会館前」下車徒歩1分



### 基礎情報

- ステンレス鋼の塊をロールで薄く延ばす熱間圧延機の一部で、正式には「プラネタリー熱間圧延機フィードロール減速機用歯車」という。二つの歯車の重さは、それぞれ28トンと36トンにもなる。
- 30年間にわたり日本冶金工業株式会社の主力設備として使われてきたが、老朽化のため平成8年(1996)に引退、一部が川崎市に寄贈され、現在モニュメントとして富士見公園に保存されている。

### 由来・エピソード

- この圧延機は世界に16基しかないといわれているうちの1基であり、同方式としては世界最大。昭和41(1966)年にこの機械を導入した日本冶金工業(株)は、技術者のたいへんな努力によって独力で運転技術を開発し精度を高めた結果、後に日本冶金工業(株)の導入以前から同じ方式の圧延機を稼働している外国企業がそのノウハウの導入を希望したというエピソードがある。
- この圧延機導入によって初めて同社内でのステンレス鋼一貫生産体制が確立し、生産は飛躍的に向上、大量生産が可能となった。京浜工業地帯の中核である川崎において、さまざまな工業製品の素材であるステンレス鋼板を製造し、紛れもなく高度成長期を支え日本の近代工業の発展に寄与した工都川崎を象徴する機械のひとつにあげられる。

### 補足・その他

--

### 関連シート

- (6-2)富士見通り
- (6-5)富士見公園
- (6-7)川崎競輪場